



2022年2月14日

各 位

上場会社名	株式会社アーレスティ
代表者	代表取締役社長 高橋 新
(コード番号	5852)
問合せ先責任者	執行役員経営企画部長 成家 秀樹
(TEL	03-6369-8664)

特別損失、特別利益の発生及び連結子会社への支援（債権放棄・増資） 並びに通期連結業績予想の修正に関するお知らせ

当社は本日開催の取締役会において、2022年3月期第3四半期の連結及び個別決算において、下記の特別損失を計上するとともに、当社の連結子会社であるアーレスティウイイルミントン CORP. に対する貸付債権の放棄並びに同社が実施する増資の引き受けを決議いたしました。

また、2022年2月上旬に当社が保有する政策保有株式の一部を売却したことから、2022年3月期通期の連結決算及び個別決算において投資有価証券売却益を特別利益に計上いたします。

これらを受けて、2021年10月29日付で公表しました2022年3月期（2021年4月1日～2022年3月31日）の通期連結業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 特別損失の計上について（連結・個別）

(1) 連結決算（固定資産の減損損失）

当社の連結子会社であるアーレスティウイイルミントンCORP. 及び(株)アーレスティダイモールド浜松並びに(株)アーレスティダイモールド栃木は、新型コロナウイルス感染症拡大に加え、半導体供給不足による大幅な自動車減産影響に伴う工場稼働率の低下により収益性が悪化しており、直近の業績の動向を踏まえた将来の回収可能性を慎重に検討した結果、当該連結子会社が保有する事業用資産について、帳簿価額を回収可能価額まで減額し、それぞれ減損損失3,777百万円、352百万円、19百万円の合計4,149百万円を2022年3月期第3四半期の連結決算に特別損失として計上いたしました。

なお、当該減損損失の計上により、来期以降は固定資産の減価償却費負担が軽減される見込みです。

(2) 個別決算（関係会社株式評価損）

上記（1）に記載しました減損損失を計上することに伴い、当社が保有するアーレスティウイイルミントンCORP. 株式の実質価値が著しく低下するため、当社は関係会社株式評価損4,053百万円を2022年3月期第3四半期の個別決算に特別損失として計上いたしました。

2. 連結子会社への債権放棄及び増資について

当社の連結子会社であるアーレスティウイイルミントンCORP. は、上記1.（1）に記載しました減損損失3,777百万円を計上することにより、2022年3月期第3四半期において債務超過となりますが、同社は当社グループの北米における戦略的な子会社として重要な位置づけであり、今後は電動系部品を中心とした受注確定済み新規量産品の立ち上げが見込まれております。

当社は同社の抜本的な収益改善と財務体質の健全化を図り、早期に経営を安定させるための再建支援策として、同社に対する貸付債権10,000千ドルを放棄することを決議し、関係会社支援損1,150百万円を2022年3月期第3四半期の個別決算に特別損失として計上するとともに、同社の債務超過解消と財務基盤強化のため、2022年3月期第4四半期において同社が実施する37,000千ドルの増資引き受けを決議いたしました。

なお、上記1.(2)及び2.に記載しました関係会社株式評価損、関係会社支援損は、当社の個別財務諸表のみに計上されるものであり、連結決算においては消去されるため、連結業績への影響はありません。また、アーレスティウイールミントンCORP.はすでに100%子会社であるため、増資による連結業績への影響は軽微であります。

(1) 当該連結子会社の概要

- ① 名 称 アーレスティウイールミントンCORP.
- ② 所 在 地 アメリカ合衆国オハイオ州
- ③ 代 表 者 互井 聡
- ④ 事 業 内 容 アルミダイカスト製造業
- ⑤ 設 立 年 月 1988年5月
- ⑥ 資 本 金 33,600千円ドル
- ⑦ 純 資 産 11,433千円ドル (2021年3月31日時点)
- ⑧ 総 資 産 116,680千円ドル (2021年3月31日時点)
- ⑨ 大株主及び持株比率 当社：100%

(2) 債権放棄の内容

- ① 債 権 の 種 類 貸付金
- ② 債 権 の 金 額 10,000千円ドル
- ③ 実 施 日 2021年12月31日

3. 特別利益の計上について (連結・個別)

当社は、コーポレートガバナンス・コードに基づく政策保有株式の見直しによる資産効率の向上と財務体質の強化を図るため、2022年2月上旬に当社が保有する政策保有株式の一部について売却し、投資有価証券売却益2,040百万円を2022年3月期通期の連結決算並びに個別決算に特別利益として計上いたします。

4. 業績予想の修正

(1) 2022年3月期通期連結業績予想数値の修正 (2021年4月1日～2022年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	114,000	△2,500	△2,300	△2,800	△108.74
今回発表予想(B)	114,000	△2,500	△2,300	△4,500	△174.59
増減額(B-A)	—	—	—	△1,700	
増減率(%)	—	—	—	—	
(ご参考)前期実績 (2021年3月期)	92,973	△2,554	△2,094	△2,843	△111.06

(2) 修正の理由

連結売上高、営業利益、経常利益につきましては、概ね前回予想通りに推移する見通しです。また、親会社株主に帰属する当期純利益につきましては、上記の減損損失並びに投資有価証券売却益等の計上により、△4,500百万円となる見通しです。

なお、期末配当予想につきましては、2021年5月18日公表(1株につき5円)から変更はございません。

(注) 本資料に記載されている業績見通し等は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

以 上